

# 端午の節句飾り

## 第2版



祖父母が長男に贈った兜飾り(1984年)

村上洋一 著

## はじめに

女の子の成長の願いや祝いは3月3日の桃の節句・雛祭りに行われ、男の子の成長の願いや祝いは5月5日のこどもの日・端午の節句に行われます。これらの節句に合わせて色々な飾りや行事が行われています。

今回私が見てきたこどもの日・端午の節句に関する飾りや行事を紹介します。

補足: 桃の節句・雛祭りに関する行事や飾りは、別冊「ひな飾り」を参照してください。

## 目 次

|                |      |
|----------------|------|
| 1. 節句とは        | P 2  |
| 2. 端午の節句       | P 2  |
| 3. 我が家の端午の節句飾り | P 4  |
| 4. 鯉のぼり        | P 5  |
| 5. 人形飾り        | P 8  |
| 6. 甲冑          | P 12 |



祖父母が長男に贈った五月人形の若殿(1984年)

## 1. 節句とは(出典:ふらここ column)

節句とは、「季節の節目となる日」のことを言います。もともと奈良時代頃に中国から伝えられた「陰陽五行説」が由来とされており、古くから年中行事を行う節目として大切に扱われてきました。

中国から伝来した当初はたくさんの種類が存在していましたが、日本の文化や生活と混ざり合うなかで少しずつ減少していきます。そして江戸時代になり、幕府が特に重要な表 1 の節句を公式の祝日に制定したことが、現代に伝わる「五節句」のルーツです。

表 1 五節句

| 月日   | 節句の名称(別名)          | 飾り      |
|------|--------------------|---------|
| 1月7日 | 人日の節句(七草の節句)       |         |
| 3月3日 | 上巳の節句(桃の節句・雛祭り)    | 雛飾り     |
| 5月5日 | 端午の節句(菖蒲の節句・こどもの日) | 端午の節句飾り |
| 7月7日 | 七夕の節句(笹竹の節句・七夕)    | 七夕笹飾り   |
| 9月9日 | 重陽の節句(菊の節句・栗の節句)   |         |

## 2. 端午の節句

### (1) 端午の節句(出典:一般社団法人 日本人形協会)

現代では「こどもの日」として祝われる5月5日、この日はもともと五節句の端午の節句にあたります。端午の端は「はじめ」という意味で、「端午(たんご)」は5月最初の午(うま)の日のことでした。それが、午(ご)という文字の音が五に通じることなどから、奈良時代以降、5月5日が端午の節句として定着していきました。

江戸時代に入り、勢力の中心が貴族から武家に移るとともに、「菖蒲(しょうぶ)」の音が、武を重んじる「尚武(しょうぶ)」と同じであることから、「端午の節句」は、「尚武(しょうぶ)」の節句として、武家の間で盛んに祝われるようになりました。この節句は、家の後継ぎとして生まれた男の子が、無事成長していくことを祈り、一族の繁栄を願う重要な行事となったのです。3月3日のひなまつりが、女の子のための節句として花開いていくのに呼応するように、5月5日の端午の節句は、男の子のための節句として定着していきました。

鎧や兜を飾ることは、武家社会から生まれた風習です。身の安全を願って神社にお参りするときに、鎧や兜を奉納するしきたりに由来しています。鎧や兜を“戦争道具”と受け取る考えがありますが、武将にとっては自分の身を護る大切な道具であり、シンボルとしての精神的な意味がある大切な宝物でした。

現在は鎧兜が“身体を守る”ものという意味が重視され、交通事故や病気から大切な子どもを守ってくれるようにという願いも込めて飾ります。

鯉のぼりは、江戸時代に町人階層から生まれた節句飾りです。鯉は清流はもちろん、池や沼でも生息することができる、非常に生命力の強い魚です。その鯉が急流をさかのぼり、竜門という滝を登ると竜になって天に登るという中国の伝説にちなみ(登竜門という言葉の由来)子どもがどんな環境にも耐え、立派な人になるようにとの立身出世を願う飾りです。

## (2) 端午の節句飾りの種類(出典: Studio Alice)

端午の節句の飾りは大きく分けて「内飾り」と「外飾り」の 2 つに分類されます。兜や鎧などの五月人形が「内飾り」で、鯉のぼりや武者絵幟が「外飾り」です。

五月人形には「男の子の身代わりとなって病気や災いから守る」という意味があり、鯉のぼりには「生命力のある鯉のように元気でたくましく育ち、鯉の滝登りにあやかって将来出世するように」という願いが込められています。

表 1 端午の節句飾りの種類

| 種類    | 説明  |
|-------|---|
| 鎧・兜飾り | 固くて丈夫な鎧や兜は、武士が戦に出陣する際に欠かせないアイテムです。また、強さや威厳を表すものであり、男らしさの象徴ともいえます。鎧や兜は、お子さまを病気や事故といった災いから守り、あらゆる困難や障害に打ち勝てるように導く「お守り」のような存在です。端午の節句に飾ることで「丈夫にすくすく成長してほしい」という願掛けになります。  |
| 武者人形  | 武者人形は、歴史上の武将や英雄を模して作られたものです。金太郎や桃太郎、神武天皇、牛若丸、弁慶、そして中国の伝説に残る神様・鍾馗(しょうき)などがモデルになっています。それぞれの武者人形にはお子さまの成長を願う意味が込められており、例えば、金太郎ならば「優しく健康に育ってほしい」、鍾馗には「魔よけ」という具合です。  |
| 金太郎   | 金太郎のように元気で心優しい男の子に育ってほしい、という願いが込められた五月人形です。金太郎の姿はまさに健康そのもの。時代を超えて愛される五月人形です。  |
| 桃太郎   | 桃太郎を端午の節句で飾るのは、桃太郎の持つ力強さや健やかな身体はもちろんですが、頭の良さや、鬼ヶ島に向かった勇気、そして犬やキジや猿を従えた人望を兼ね備えた人(男の子)になって欲しいという願いがこめられているためです。その他にも、鬼を退治したということから、災厄から身を守るという意味も含まれているそうです。  |
| 鍾馗    | 魔除けの力があるという、代表的な五月人形の一つです。中国の唐時代、玄宗皇帝が熱病にかかり、夢の中に鬼が現れうなされているところへ登場して鬼を退治してくれたのが鍾馗です。目が覚めて全快した皇帝は喜んで、その姿を宮廷画家に描かせました。  |
| 鯉のぼり  | 中国には、黄河の上流にある「竜門」という、流れの速い場所を登りきった鯉が龍に変身して天に昇っていったとする伝説があり、出世や成功につながる難関を「登竜門」と呼ぶようになりました。このことから、鯉を立身出世の象徴として「困難に打ち勝ち、立派に大成しますように」という願いを込め、鯉のぼりを飾るようになったとするのが一説です。武者絵幟とは、勇ましい戦国武将の姿が描かれたのぼりで、お子さまの名前を入れることもあります。 |

### 3. 我が家の端午の節句飾り

#### (1) 長男(荘太)

長男は新潟県中条町(現在は胎内市)で誕生し、私の神奈川県海老名市への転勤まで新潟にいました。中条町では会社の社宅に住んでいて、鯉のぼりは社宅のベランダで揚げました。



兜飾り



ベランダで揚げた鯉のぼり

#### (2) 孫(暖磨)

長男の子(私の孫)は神奈川県座間市で誕生しました。



兜飾り



#### (3) 孫(寿仁)

長女の子(私の孫)は神奈川県平塚市で誕生しました。



兜飾り

#### 4. 鯉のぼり

昔は一戸建ての住居が普通で、男の子が誕生すると家屋の敷地内に柱を立て、鯉のぼりを揚げていました。昨今はマンションなどの集合住宅が主流となり、家庭で鯉のぼりを揚げることはなくなりました。しかし戸建てが普通の田舎では今も鯉のぼりを揚げています。

使われなくなった鯉のぼりは、一本のロープに吊るして公園などで揚げ、観光イベントに資しています。

##### (1) 近くのお宅の鯉のぼり(海老名市国分北)

我が家の近くに、毎年鯉のぼりを揚げるお宅があります。ご自宅の前の広い芝生の庭に鯉のぼりの柱を立てて揚げています。

また近隣では、ベランダで鯉のぼりを揚げているお宅もあります。



毎年ご自宅の庭で揚がる鯉のぼり



ベランダで揚がる鯉のぼり

##### (2) 大谷の鯉のぼり(海老名市大谷)

海老名市の大谷地区で、使われなくなった鯉のぼりが春空を泳ぎます。18年前から始まったイベントですが、2020年からは新しい担い手の不足などの理由により中止になりました。



大谷地区の田んぼで揚げられる鯉のぼり

### (3) かにが沢公園の鯉のぼり(座間市)

四季折々の自然が楽しめ、座間八景の一つにもなっている公園です。桜まつり、鯉のぼり、ひまわり、彼岸花が楽しめます。



### (4) 座間神社(座間市)

座間名所八景の一つにも選ばれた景色の良い神社です。鯉のぼりの他端午の節句人形(P9 参照)が展示されます。

3月のひな祭りには77段の階段参道に約1,000体のひな人形が並びます。



### (5) 若宮公園(厚木市森の里)

4月中旬から「森の里鯉のぼりまつり」が厚木市の若宮公園で開催されます。若宮公園内の瓢箪(ひょうたん)池の上空に、約200匹の鯉のぼりが揚げられます。



**(6) 恩曾川地蔵橋親水広場(厚木市温水)**

恩曾川の地蔵橋親水広場で約 200 匹の鯉のぼりが揚げられます。



**(7) 茅ヶ崎里山公園(茅ヶ崎市)**

長いローラー滑り台、複合遊具、雲のトランポリン、芝生広場などで楽しめる公園です。柳谷池の上に約 200 匹の鯉のぼりが吊るされます。





### (8) 相模川(相模原市)

「泳げ鯉のぼり相模川」は1988年から開催されましたが、2020年からは資機材の老朽化、新しい担い手の不足などの理由により中止になりました。



## 5. 人形飾り

### (1)「五月飾りと手作り甲冑」(河の手ギャラリー、海老名市)

厚紙をカットし紐で編み込み色付けした手作り甲冑は、本物さながらです。



鎧兜飾り



手作り甲冑

## (2) 座間神社(座間市)

3月にひな祭りが開催され、4月末～5月初めに端午の節句飾りの展示があります。



神楽殿の端午の節句飾り



4体の鍾馗様



子供大将

## (3) あつぎ古民家岸邸(厚木市)

「厚木市古民家岸邸」では色々なイベントが開催され、4月末～5月初めに五月飾りの展示があります。



端午の節句飾り



二階の座敷のこいのぼり



鎧兜飾り



兜飾り

**(4) 古民家山十邸(愛川町)**

古民家山十邸は、式台(玄関)、北側に6部屋、北端に座敷飾りを備える15畳の主座敷を設ける豪壮な農家建築です。4月末～5月初めに五月飾りの展示があります。



式台(玄関)の人形飾り



人形飾り

**(5) 「端午の節句まつり」(相模田名民家資料館、相模原市)**

2月初旬から3月の桃の節句に「ひな人形展」が、また5月の端午の節句に「端午の節句まつり」が開催されます。





子供大将



鎧、神武帝、鍾馗

(6) 「五月飾り展」(南足柄市郷土資料館、南足柄市)

郷土資料館は、天狗伝説の息づく足柄の森の中にあります。南足柄市の歴史と文化を紹介する常設展示のほかに、収蔵品展や年間3回の特別展が開催されます。

4月末～5月末に「五月飾り展」が開催されます。明治、大正、昭和の古い端午の節句飾りがあります。



入口の幟と五月飾り



凧と昔の五月飾り



神武/神功皇后・武内宿禰/武者(明治)



神武/加藤清正/桃太郎/熊乗り金時  
(大正11年)



神武/鯉持金時/鐘馗/勸進帳  
(大正 15 年)



鯉のぼり/鐘馗/飾り馬/兜差金時/弁慶  
(昭和初期)

## 6. 甲冑

甲冑は頭にかぶる「兜」と、体を守る「鎧」の総称です。武器として使われていた日本刀と異なり、身を護る大事な防具として使用されます。五月人形の兜や甲冑には、「わが子を守ってくれるように」という願いが込められています。

本物の甲冑はお城などで見ることができますが、主に段ボールで手づくりするサークルがあります。

### (1) 手作り甲冑展(ピナレヅ、海老名市)

2023 年から手作り甲冑の展示を始め、2025 年は海老名市民まつりでも展示しました。



## (2) 甲冑大展示会(伊勢原市)

「伊勢原手作り甲冑隊」の隊員が作った甲冑の作品展です。伊勢原市の「道灌まつり」では隊員が手作りした甲冑を着て行進します。



伊勢原市中央公民館での展示



2024年の道灌まつり

## (3) 小田原北條五代祭り(小田原市)

「小田原北条手作り甲冑隊」が手作り甲冑を着て「小田原北條五代祭り」に参加します。



小田原北条手作り甲冑隊の行進



甲冑の展示(相模田名民家資料館)

# 端午の節句飾り

---

令和5年5月 初版発行

令和8年3月 第2版発行

著者 村上洋一

発行所 村上出版社